

# Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

## 「地域とひとつ」になり守る交通社会

島根県公安委員会指定 はまだ自動車教習所

理事長 土田 好明



### 自動車教習所について

教習所とは、どのような場所だと思われますか。もちろん皆様もご存じだと思いますが教習所とは、運転免許を取得する為の場所ですが、既に運転免許を取得されている方には、懐かしい場所であり、教習中に失敗をした苦い思い出や、試験に合格した時の喜びや感動を思い出されるのではないのでしょうか。また、これから運転免許を取得される方にとっては、自動車を運転する事の期待や不安を抱きながら、入校日を迎えられるのではないかと思います。

当教習所では、**年間に約600名のドライバーを教育**し交通社会へと安全運転を願い送り出しています。

### 無くならない「交通事故」

想像してみてください。もし自分が病気やケガ等で自動車の運転が出来なくなるような状況になってしまった場合、今までと同じ生活ができるでしょうか。生活のリズムは180度変わり、通勤、買い物、子供の送迎等に多くの時間を費やし、多くの費用を移動する為に負担することになると思います。自動車は、私たちの生活に多くのメリットを与えてくれています。しかしその反面、テレビやラジオからは「〇〇県で交通事故が発生し、〇名死亡、〇名重傷です」等のニュースが後を絶ちません。**全国では、年間で約40万件的交通事故が発生し、約3000人の尊い命が失われています。**この悲惨な交通事故を起こさないよう、安全なドライバーの教育が教習所には求められています。

### はまだ自動車教習所の「もう一つの役割」

基本的に運転免許は、取得すればその後に再教育を受けることは、ほとんどないですし、運転は出来るのだから再教育なんて必要ない、と思う方も多いと思います。しかし、年齢を重ねると体や認知機能が衰えていきますし、道路交通法も年々新しくなっていく、それらに合わせた運転をしていかなければなりません。

そこで、運転免許を取得されている方だけでなく、この浜田地域から交通事故を無くす為に、当教習所のもう一つの役割である「**地域の交通安全センター**」としての取り組みを紹介します。

#### ●企業講習

各企業や会社の職員へのドライバー再教育を行い、業務中、通勤時での交通事故を起こさないような講習を実施しています。

#### ●交通安全週間中の街頭啓発活動

交通量の多い国道9号で、職員が安全運転のプラカードや旗を持ち街頭指導を行います。

#### ●教習所一日開放

地域の方へ教習所を開放し、安全運転機材の体験を行い、地域の皆様へ交通安全の講話等を行います。

#### ●高齢者講習

70歳以上で免許を更新しようとする運転者に対し、講話、視力検査、運転実技観察を行い、いつまでも安全運転が続けられるようにアドバイスを行います。

#### ●ペーパードライバー講習

長期間運転をしていない等、運転が不安な方に教習所コースや路上でのアドバイスを行います。また、病気等で運転から離れていた方が再び安全に運転出来るように、教習所コースでリハビリを兼ねた指導を行っています。

上記のような様々な取り組みを行い、地域とひとつになり交通事故を少しでも減らせるよう努めていき、子どもから高齢者まで安心して過ごせる交通社会を目指しています。



企業講習の様子



高齢者講習の様子



安全運転体験(スリップを疑似体験できるスキッドカー)



ペーパードライバー講習